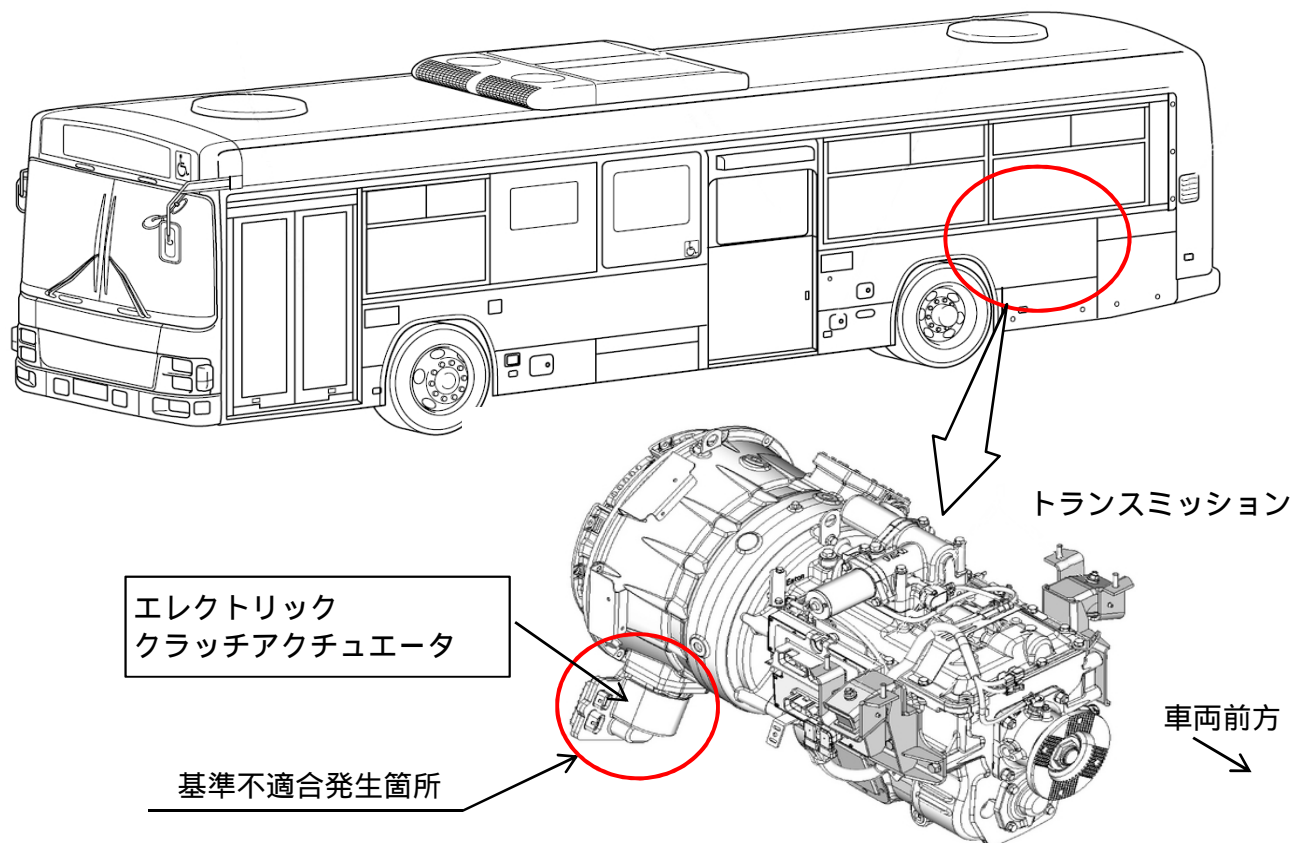


改善箇所説明図



改善前	改善後

ハイブリッド仕様の路線バスにおいて、クラッチの作動を制御する電気クラッチアクチュエータの製造が不適切なため、内部制御基板が変形して取付けられているものがある。そのため、CPU端子はんだ部の熱膨張・収縮の繰り返しにより、当該はんだ部に亀裂が生じ、警告灯が点灯してフェールセーフモードとなり、クラッチの接断ができなくなり、最悪の場合、走行中エンストして走行不能となるおそれがある。

改善の内容：

全車両、電気クラッチアクチュエータを対策品に交換する。

識別：運転者席左側ドア開口部のシリアルナンバープレート付近に、緑色シールを貼付する。

注：  は措置する部品を示す。